二学年　国語科

前回の課題の解答と各教材の解説

□教科担当の松本からメッセージ

お久しぶりです。休校中、読書をしていますか？私は「二日に一冊」を目標に読書をしています。国語力を上げるためには色々な方法がありますが、読解力や語彙力をつけるためには「読書」が一番良いです。本を読む人と読まない人とでは、国語力は大きく差が開きます。普段忙しくて読めない人も多いと思うので、この期間を利用してたくさん読書をしてみてください。

さて、課題は終わりましたか？休校中は中々モチベーションも上がらず、勉強するのも大変だと思いますがもう少しの辛抱です。頑張りましょう！前回のプリントの解答と各教材の解説を入れておきますので確認してください。また、問題に解答する時のポイントを左にまとめておきますので、確認しておきましょう！

※「解説プリント」のカラー版をホームページに掲載中

入っている解説等は「白黒コピー」で見にくい部分もあると思います。実際はカラーで作成しているので、印西中学校のホームページに掲載しておきます。ネット環境がある人は、そちらも確認してみてください。

□問題を解くとき、解答の仕方のポイント

大前提として「問題文をよく読む」ことが重要です。国語は、他教科よりも問題のパターンが多いです。空欄補充、記号問題、書き抜き問題、説明する記述問題……さまざまです。きちんと問題文を読まず、解答の仕方を間違えて減点されたり×にされたりする人も多いと思います。だからこそきちんと問題文を読み、何を問われているのか、どのような答え方をすれば良いのか、しっかりと確認してから答えられるようにしましょう。

①書き抜きの問題のとき、きちんと指定を守ろう！

書き抜きの問題は、文字通り、本文の言葉をそのまま書く問題です。ただし、書き抜きの問題でもキーワードとなる「単語」を書き抜く問題、必要な「部分」を書き抜く問題、「一文」を書き抜く問題があります。特に注意が必要なのは「一文」の書き抜き。言葉の単位の概念をふまえると、一文は「。」まで入れなくてはなりません。必要な部分を書けても「。」がなければ×になるので注意しよう！

②説明をする問題では「語尾」に注意をはらおう！

「語尾」も採点をする時によく減点されるポイントです。「理由」を書くような問題では「～だから」「～のため」のように終わらせないといけないし、「事柄やもの」を聞かれる問題では「～なもの」「～ということ」のように終わらせる必要があります。そこまで注意して解答をまとめられるようにしよう！

③問題文をヒントにしよう！

問題を読んで本文から解答を探すと思いますが、文がたくさんあるので何もヒントがないと探しにくいですよね。問題文は、それを探すヒントになります。例えば「傍線部」があってそれに関する問題に解答する場合、その傍線部の前後近くに解答があることが多いです。問題文をうまく利用しましょう。

（古典）

一学年の学習事項の復習

古文

［例］を参考に、①～⑮の歴史的仮名遣いの言葉を現代仮名遣いに直して全て平仮名で書きなさい。

☆**古文の基本！　完璧に覚えておこう！**

①語中・語尾の助詞以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」は「ワ・イ・ウ・エ・オ」と読む。

［例］竹取の翁といふ→いう　使ひけり→使いけり

②ワ行の「ゐ・ゑ・を」は「い・え・お」と読む。

［例］まゐる→まいる　こゑ→こえ

③「ア段＋ふ（う）」は「オ段＋う」
「イ段＋ふ（う）」は「イ段＋ゆう」
「エ段＋ふ（う）」は「イ段＋よう」と読む。

［例］けふ（今日）→きょう

④「ぢ・づ」は「じ・ず」と読む。［例］よろづ→よろず

⑤語中の「む」は「ん」と読む。［例］なむ→なん

⑥「くわ・ぐわ」は「か・が」と読む。

［例］くわじ（火事）→かじ

［例］か　を　り→（か　お　り）

①夫（をとこ）→（おとこ）
②沿（そふ）て→（そうて）
③あ　ら　ふ→（あろう）
④かへりて→（かえりて）
⑤おのづから→（おのずから）
⑥い　ふ→（いう）
⑦たまはれ→（たまわれ）
⑧問　へ　ば→（とえば）
⑨い　ら　ふ→（いろう）
⑩と　の　へ→（とのえ）
⑪辞（ぢ）し→（じし）
⑫てふてふ→（ちょうちょう）
⑬鬼王（きわう）→（きおう）
⑭思ふまま→（おもうまま）
⑮養　ひ　し→（やしない し）

漢文

返り点のルールに従って、次の二つの問いに答えなさい。

☆**漢文の基本！　完璧に覚えておこう！**

訓読点　書き下し文

レ点：上から順に読み、レ点の下の一字を先に読んでから返ってくる
　①我見レ鳥。　我鳥を見る。
　②我見レ鳥。　我果しき鳥を見る。
　③我見レ美鳥者。　我果しき鳥を見る者を見る。

一二点：二点を飛ばして上から順に読み、一点のついた字の次に、二点のついた字を（その次に三点のついた字を）読む
　①我知見美鳥者。

上下点：二点のついた部分を読んだ後、上点のついた字の次に、（中点のついた字を読み、）下点のついた字へ返る
　①我知見美鳥者。

※レ点の役割…レ点と一二点、両方の役割を持つ
まずレ点に従って下から上に戻り、その後一二点の働きとしてすぐ二点にとんで読む。

不三自覚二疾之去レ体也。

(1) 返り点に従って、□の中に読む順番を算用数字で書きなさい。

①1 4 レ 3 レ 2
②2 レ 1 5 二 3 4
③3 二 1 2 一 6 二 4 5
④4 二 1 3 レ 2 7 二 5 6 8
⑤5 レ 4 二 1 3 レ 2 6 9 レ 8 レ 7

(2) 次の各文を書き下し文に直しなさい。

①尽二人事一待二天命一
（人事を尽くして天命を待つ）

②百聞不レ如二一見一
（百聞は一見に如かず）

③不レ入二虎穴一、不レ得二虎子一
（虎穴に入らずんば、虎子を得ず）